

Curtain

カーテン

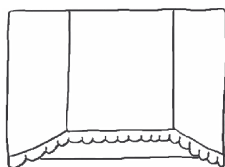
01 窓に表情をつける

仕立てや吊り方でも印象が違うカーテンやブラインドと、ひと口に言ってもたくさんの仕立て方、吊り方があります。同じ色や柄のカーテンであっても、それらが変われば、部屋のイメージや快適性も大きく変化します。

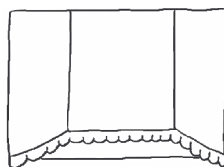
また、それぞれのカーテンには遮光性や保湿性などの機能、ブラインドには眺めや外光を自由に調整できるという特徴があります。

イメージに合う最適な一枚を選んで、あなただけの空間を演出してみましょう。

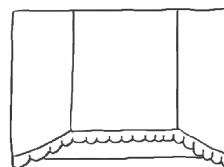
/ カーテン -----



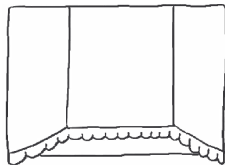
・スカラップ・



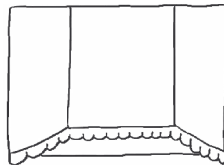
・バルーンシェード・



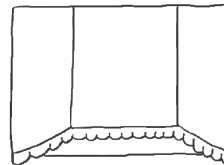
・クロスオーバーカーテン・



・プレーンシェード・

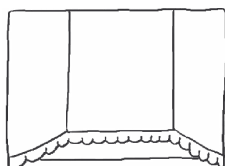


・ロールカーテン・

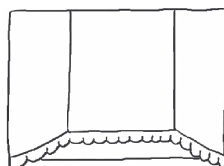


・カフェカーテン・

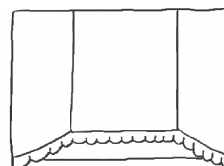
/ ブラインド -----



・プリーツスクリーン・



・パーチカルブラインド・



・ブラインド・

02 生地の特性と機能性

生地選びのポイントはデザインと機能性

カーテンの生地を選ぶ際には、床や壁に合う色や柄を選択するのはもちろん、部屋の条件に応じた素材を選びます。

例えば、日当たりが強い部屋には遮光性の高いものを、子ども部屋には丸洗いでできるウォッシュابلタイプを選ぶといいでしょう。

ちなみに「無地で壁紙に近い明るい生地」には、部屋を広く見せる効果もあります。

多種多様化されたカーテンの素材

防災 / 防災薬剤を含浸させたものや、難燃素材のもの、ガラス繊維などの不燃素材を使用したものなどがある

ウォッシュابل / ポリエステル素材のカーテンは、ほつれや色あせしにくいので、家庭用洗濯機で丸洗いでできる

防臭・抗菌 / イヤな臭いのもととなるペットやタバコなどの臭いが付きにくく、ブドウ球菌・大腸菌・白せん菌・かび・微生物などの成長も抑える特殊加工が施してある

遮光 / アクリル系やポリウレタン系の樹脂をラミネートしたもの、特殊な黒糸を織り込んだ素材のものなどは遮光性が高い

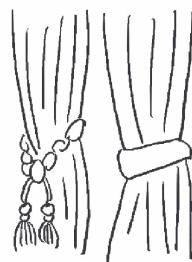
形状記憶 / 特殊加工により、生地そのものに折り目などの形状を記憶させたもの。手入れがとてもしやすい

03 アクセサリー

アクセサリーは窓周りのアクセントに

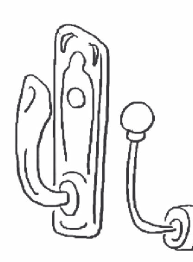
生地や素材などを選んだら、アクセサリーにもこだわりたい。

カーテンを束ねるタッセルや肩掛け、生地をふちどるトリムやフリンジなどは窓周りのアクセントになり、空間を演出することができます。



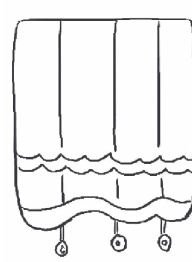
・タッセル・

カーテンを開いたときに、生地を束ねて留めておくもの



・肩掛け・

いわゆるカーテン止め。素材やデザインに凝ったものも多い



・トリム・

カーテンの縁や裾をあしらうための飾り。トリミングともいう